



# りんご生産情報（4月ふれあい号）

令和6年4月4日  
北地区営農係

## （1）りんごの生態

生態の早いところでは、まもなくふじの発芽が確認されます。

3月29日発表「弘前公園さくら情報（第5回）」によると、桜の開花予想は平年より8日早い4月14日と発表されています。気象庁の2週間気温予報からも今後の気温は平年より高い予報のため、生態も加速するものと思われます。

調査地点	つがる		ジョナ		王林		ふじ	
	発芽日	平年差	発芽日	平年差	発芽日	平年差	発芽日	平年差
鬼沢	4/4	-5	4/4	-3	4/3	-4	(4/6)	
新和	(4/5)	-4	4/3	-4	4/3	-4	(4/6)	
三和	4/3	-6	4/3	-4	4/1	-6	(4/5)	
十腰内	4/4	-5	4/1	-6	4/3	-4	(4/5)	
前年	3/26	-14	3/24	-14	3/23	-15	3/26	-14
農協平年	4/9	-	4/7	-	4/7	-	4/9	-
りんご研究所	4/3	-3	3/30	-6	4/1	-5	(4/5)	

※4/4現在、発芽日が確認されていない品種については有線等でお知らせします。

( )内は、予想となっております

## （2）薬剤散布

第一回目の薬剤散布は、平場で4月20日頃の予想となります。

今年も薬剤散布が始まりますので、農作業中の事故には十分気をつけましょう。

回数 (散布量)	散布時期 (散布日)	対象病害虫	薬剤名 及び調合順序	倍数	1000ℓ 当り薬量	防除上の注意
1 (300ℓ)	ふじの 展葉1週間後 (4月20日)	リンゴハダニ ハマキムシ類 キンモン・ギンモン 黒星病・モニリア病	精製マシン油 ベフラン液剤	200倍 1,000倍	5ℓ(1/4) 500ml×2	サンホーゼカイガラの発生が見られる場合は、アプロード1,000倍も使用しましょう。ベフランは最後に調合しましょう。 
2 (320ℓ)	ふじの 開花直前 (4月30日)	黒星病・モニリア病 うどんこ病 シガカモハダ	カナメフロアブル カスケード乳剤	4,000倍 4,000倍	250ml×1 250ml×1	前回との散布間隔は10日以内としましょう。
3 (350ℓ)	ふじの 落花直後 (5月10日)	黒星病・黒点病 うどんこ病 シガカモハダ	ミギワ20フロアブル ジマンダイセン水和剤 カスケード乳剤	4,000倍 600倍 4,000倍	125ml×2 1.67g×1 250ml×1	

※散布日は平場を基準としています。

## （3）降霜対策

近年、りんごの生態が早まるにつれ、降霜被害が見られえます。

りんごの耐凍性は発芽期（-2.2℃）から開花期（-1.5℃）まで徐々に弱まり、低温で1時間以上経過すると被害が発生する恐れがあります。

降霜は前日午後7時の気温が6℃以下で、晴天無風の場合に危険性が高まりますので、今後は気象情報に注意しましょう。

燃焼資材の着火は、危険温度の1℃高い時点で点火し、防霜ファンは始動温度を2℃に設定しましょう。

生育ステージ								
	発芽直前	発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色期	開花始	満開期	落花期
安全限界温度	-3.5	-2.2	-2.2	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7